

歯科保健施策の実施状況 (概要版)

平成27年度の取り組み

- 第3次熊本市歯科保健基本計画に基づいて、ライフステージの特性に応じた歯科健診や口腔保健指導、歯科相談、歯科健康教育などを実施し、生涯を通じた切れ目のない歯科口腔保健の推進を図った。
- 子どものむし歯予防を強化するため、平成27年度以降の検討委員会における協議テーマを「妊娠期及び乳幼児期におけるむし歯予防」とし、妊娠期の歯科健診受診状況に関するアンケートや幼児健診結果からむし歯のリスク分析などの実施や対策等を検討した。
また、毎年実施している講演会や研修会においても、子どものむし歯予防をテーマとして歯科疾患の予防に取り組んだ。

- ・歯科保健推進協議会検討委員会 2回
- ・地域歯科保健研修会 1回
- ・市民健口講座 1回
- ・無料歯科健診付き啓発カードの作成（15,000部作成）・・・H28追加作成予定

- 学童期のむし歯予防対策である「フッ化物洗口普及モデル事業」は、教育委員会と健康福祉局が連携し、市歯科医師会の協力を得て、モデル事業の成果や課題及び対応策をまとめた報告書やフッ化物洗口実施手順書及びQ&Aを作成した。また、教職員や保護者の理解を深める取り組みとして、学校の場合以外においても、市や区単位のPTAでの説明会や地域イベント等での「フッ化物洗口体験コーナー」の実施等、フッ化物洗口の効果と安全性について広く啓発しながらフッ化物洗口の推進に向けて取り組んだ。

フッ化物洗口普及モデル事業

【成果】

- ・歯と口の健康に関する意識の高まり
- ・フッ化物洗口への理解の深まり
- ・小学校におけるフッ化物洗口の多様なモデルの提示
- ・地域や関係機関との連携の深まり

【課題と対応策】

- ・実施校が増加していない➡教育委員会や学校歯科医、区役所等の連携による職員・保護者説明会等の実施
- ・教職員の負担 ➡ 円滑な実施のためにフッ化物洗口実施手順書を作成し、学校への支援体制を構築
- ・フッ化物洗口液に対して抵抗感がある児童がいる ➡ 味やにおいの少ない洗口剤の使用の検討
- ・一部の教職員や保護者に安全性に対する不安やフッ化物洗口を学校で行うことに対する疑問
➡ 学校でのフッ化物洗口実施の趣旨・効果についての丁寧な説明

【まとめ】

- ・教職員及び保護者アンケートの結果より、モデル事業は児童のむし歯予防意識が高まっただけでなく家庭への波及効果も見られ健康的な生活習慣の形成を図るための健康教育の一環として意義があったと思われる。
- ・フッ化物を利用したむし歯予防法を広く啓発するとともに、必要な人的支援を視野に入れ、関係団体やボランティア組織と連携を図りながら、できるだけ学校に負担のかからない体制を構築する必要がある。
- ・事業の拡大を図るためには学校の実情をはじめ地域や協力体制の状況を考慮しながら事業を推進していく必要がある。

作成・「熊本市フッ化物洗口普及モデル事業報告書」（学校、学校歯科医、行政職員、関係団体等へ配布）

- ・「フッ化物洗口の実施にあたって」（学校、学校歯科医、行政職員、関係団体等へ配布）
- ・「フッ化物洗口Q&A」2種類（①学校歯科医や校長、行政職員等へ配布）（②学校職員及び保護者へ配布）

啓発・教職員及び保護者説明会（中学校含） 30回

- ・地域イベント等でのフッ化物洗口体験コーナー 55回

○地域における口の健康づくりに関する正しい情報提供の充実を図るため、8020 推進員の育成を行い、地域における歯科啓発活動を支援。また、地域における様々なイベントにおいて市歯科医師会、熊本市8020健康づくりの会等をはじめとする関係団体と連携し、市民への歯科啓発に取り組みながら、歯科口腔保健を推進するための社会環境の整備に取り組んだ。

・8020 推進員育成数 57人

・8020 推進員による地域活動数 641回 2,698人 *59,067人の市民に啓発

・地域イベント等での歯科啓発 245回 15,244人

○障がい児(者)の治療を実施する歯科医院の協力一覧表リーフレットを作成し、ホームページへの掲載や市民及び関係機関へ情報提供の実施。

平成 28 年度の計画

○「フッ化物洗口は校区単位の健康まちづくりの一環として、地域や保護者の方々の協力を得ながら、小中学校において徐々に普及拡大に努めていく」という市の方針に基づき、食後の歯みがき習慣や食習慣の改善とともに歯質強化に効果的なフッ化物洗口に取り組む、正しい生活習慣の体得を目指して、小中学校における歯・口の健康づくりに取り組んでいく。

○妊娠期・乳幼児期のむし歯予防対策などの検討を重ね、ライフステージに応じた歯と口の健康づくりの取り組みを強化する。

・子育て支援センターや産婦人科での妊婦を対象とした健康教育の場において、歯科保健に関する情報提供の充実を図る。

・無料歯科健診付き啓発カード配布先

市内ローソン各店舗 (80ヶ所)・市歯科医師会会員(400枚)・歯科保健推協議会委員(18団体)

市役所、区役所の総合案内等に設置

○若い世代への健康づくりを目的として、地域で開催されるイベントを活用した歯科啓発等の充実を図る。

・寺原自動車学校主催の T1 フェスタや大学学園祭での若い世代への歯科啓発

<T1フェスタ>日時:平成28年11月20日(日)10時~16時

場所:寺原自動車学校(中央区壺川 2-3-78)

来場者見込み数 2000人(H27年度実績数より)

・校区単位の健康まちづくりとのタイアップによる歯科啓発

○熊本地震における避難所、仮設住宅等における歯科保健活動の取り組みを行い、他職種と連携し総合的な健康づくり活動の実施。